

# 「徒然草」を読む

## なくさみぐさ 一松平文庫蔵『慰草』と共に一

島原図書館の2階にある松平文庫には、旧藩主松平家に伝わる多数の和漢の書籍が残されています。国内最古の写本や国内唯一の貴重書もあり、全国の大学や研究機関から、多くの古典文学研究者が訪れています。

しかしながら、なかなか馴染みの薄い古典文学研究。松平文庫の所蔵資料を求めて遠方からやってくる研究者は、具体的にどのような研究をされているのでしょうか。

今回は、松平文庫における古典文学研究の実際ということで、九州大学文学部の川平敏文准教授をお招きしました。松平文庫所蔵の「慰草」という注釈書をテキストに「徒然草」の代表的な章段を江戸時代の目線で読んでいきます。

中学校・高等学校で、一度は学ぶ「徒然草」。江戸時代の書籍を使って、古典文学の面白さと松平文庫の素晴らしさを体感しましょう！

日時 平成23年1月8日（土）午後2時～

場所 島原城観光復興記念館 視聴覚ホール

入場料 無 料

講師 川平 敏文 先生（九州大学文学部准教授）



松平文庫所蔵「なくさみ草」

開催中！

「島原城 松平文庫展」

場所 島原城観光復興記念館

期間 2010年12月18日

～2011年1月17日

主催：島原市・島原市教育委員会・島原文化連盟

問合せ先：市長公室 文化・スポーツ振興グループ 68-5474

島原市教育委員会 社会教グループ 68-5473